



PROGRAM NOTE

2020年7月

HCJB リスナーを訪ねて 南米ふれあいの旅 1995年

「こちらはHCJB アンデスの声です。南米赤道下の国エクアドルから南米向けに日本語放送をお届けします」 アンデスの峰を越えて第一声が流れたのは1964年、東京オリンピックの年でした。待ちわびる私たちのもとにブラジルのリスナーからの第一信が届いたのは一ヶ月後でした。「はじめてお便りします。いきなり日本語の番組が飛び込んできてびっくりしながら大喜びしています。ローカル放送並みに聞こえます。エクアドルからと聞き、地図を見てびっくり。あんな遠いところからご苦労様です。ちょうどブラジル政府の通達で日本語を含めて外国語による放送が禁止になったばかりなので余計に嬉しいです。」

放送開始は天の時・・・「日本語番組が中止になったので国外からの放送を懸命に探していたところ「アンデスの声」が飛び込んできて飛び上がりました。「わたしの受信機は英国製ですが、古いモデルなので、使用している真空管は傍熱型です。スイッチ・オンしても1分以上待たないと放送が入ってこないで早めに準備して待っています。」「手紙の紹介で日本から同じ船でブラジルに渡ってきた家族の消息がわかりました。」「日本人学校のせいとたちには日本語の勉強になるので家族と一緒に放送を聞くようにすすめています。」「誕生日なのでお祝いにプレゼント曲を送っていただけませんか」 放送当初から「アンデスの声」は家族的な雰囲気にも包まれた番組となりました。

放送は地の利を得て両半球をめぐって電波は飛んで行きました・・・「エクアドルの最高峰チンボラソ。地球が楕円形であるために、その山の頂上は世界のどの地点よりも地球から遠い。」赤道におり立った日本初の宇宙飛行士毛利衛さんは著書の書き出しに書いておられます。アンデスの峰からの電波は世界の隅々にまで番組を届けるためにアンテナの役目を果たす最適の場所だったのです。南米でも日本でも「アンデスの声」は波受好家の人気局となりました。1995年、ブラジル日系キリスト教連盟の大会に招かれた私たちは、その機会にリスナーを訪ねる「南米ふれあいの旅」を実現させることができました。

放送とは人との絆・・・ボリビア、ブラジル、ペルーの3カ国を一ヶ月間にわたって巡回し、19ヶ所、で30集会、合計300名のリスナーの方々とお会いしました。いつも耳からしか聞けない声の主を目の前にして、手、顔、肩、背中と身体中に手を触れ、自分の目で今その本人を見ていると指差さす手には、長年の開拓生活の厳しさが刻まれていました。アマゾンでは主人が放送を聞きながら天国に凱旋してきたのでそのお礼をと、大河を3日間も遡って奥様が会いに来てくださいました。息子の運転で連れてきたもらった年輩の方が車を降りるなり深々と最敬礼をされ、「私は移住地を転々として歯医者として働いてきましたが、どんな時でも放送で励まされて今までやってきました。これまで放送を無断で盗み聞きしていて申し訳ありませんでした。」こう言いながら懐から封筒を取り出し、「これが私の最初の受信報告書です。」そこには、これまでの人生体験が綴られ、お礼としての金一封も添えられてありました。移住者だからといって、特殊な日本人になったわけではなく、新しく言葉で現地に溶け込み、原生林と戦う生活は並大抵ではありません。ここうした人々から「アンデスから飛んでくる放送が心を慰めてくれ、新天地で生き抜く決意と新たな希望に立ち上がる力を与えてくれた感謝されると、電波を通じて神が差し伸べられた愛の手のぬくもりを感じることができました。

ブラジル日系キリスト教連盟の大会(写真右)ではHCJBの働きに対して次のような感謝状が贈られました。「年中無休の放送伝道のご奉仕を感謝いたします。ラジオはその特殊性、持ち味からして、特に奥地の無電地帯ではなくてはならない貴重な利器です。「アンデスの声」については、特に足では踏み込めないところでさえも、耳で人々が慰めや励ましなどを受けることができていることを実感させられています。素晴らしい「アンデスの声」の働きの尊さ、日々のご奉仕の重要さに心から感謝申し上げます。



サタデー・トーク

バイブル・トーク

きき手 尾崎一夫 毎週土曜日放送		淀橋教会 峯野龍弘主管牧師 毎週日曜日放送	
7月04日	折り紙の詩(2)	7月05日	リスナーからの「お便り交換の時間」
7月11日	マリンバの調べ	7月12日	聖書遊覧バス(創世記21章)
7月18日	南米ふれあいの旅(ボリビア編)	7月19日	聖書遊覧バス(創世記22章)
7月25日	サボテン便り(11)	7月26日	聖書遊覧バス(創世記23章)

放送後の番組は、ホームページ(<http://japanese.reachbeyond.jp>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。(mp3形式)

放送時間：日本時間 午前7時半~8時 15410kHz (再放送) 午後8時~8時30分 15.565kHz
(米国アリゾナ州制作/オーストラリア送信)

*受信報告書をメールで送る場合：hcjbjapan.office@gmail.com

